

令和2年度第2回久留米市城島ふれあいセンター運営委員会（要旨）

日 時	令和3年3月15日（月）10:00～11:00
場 所	久留米市城島ふれあいセンター 軽運動室
出席者	小野委員、熊谷委員、西山委員、蒲池委員、波多委員、原委員、榎本委員、千代島委員、佐藤委員、田中委員、酒井委員、
欠席者	樋口会長、江上委員、檜橋委員、今村委員 草野委員
事務局	澁田課長、池田課長補佐、久木原主査、中野社会教育指導員
傍聴者	なし

次 第	内 容 等	
1 ～ 3	進行：事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 文化スポーツ課長挨拶</p>
4. 議題	<p>進行：副会長 事務局 委員 事務局</p> <p>事務局 委員 事務局</p> <p>委員 事務局 委員</p>	<p>（1）令和2年度久留米市城島ふれあいセンター事業報告 －説明－ 新たな「在宅カレッジ」講座の中でどのように男女共同参画の視点を取り入れているのか、また、受講者の男女の比率は。 「在宅カレッジ」の中で発行しているカレッジ通信に女性に対する暴力をなくす運動とパープルリボンのキャンペーンを紹介している。また、子育て世代のママに寄り添った働き方を実現している会社の取り組みを紹介した。 なお、受講者の男女比率は女性が多く男性は3%です。</p> <p>（2）令和3年度久留米市城島ふれあいセンター事業計画（案） －説明－ コロナ禍にて割愛されている事業が大分あると思うが、オンライン講座など検討してはどうか。また、この施設のWi-Fi環境はどうなっているか。 今年度は大幅に事業を削減し、新たに「在宅カレッジ」講座を実施した。しかしながら、実際に施設に集って仲間づくりをしていただくことも生涯学習の大切な目的であり、できるだけ感染対策を講じ安心して施設も利用していただきたいと考えている。 なお、残念ながらWi-Fi環境は整っていない。来年度直ぐにという計画は無いが、今後、若い世代の利用も考え、オンライン・Zoom等も検討したい。 主催講座等におけるネット環境のニーズ・必要性はどのようになっているか。 ニーズはあると思うが、まずは利用の多い中高年齢者が安心して集うことができる施設運営を行っていきたい。 コロナ禍の中、講座の募集定員も少なくなっている。市民に対</p>

	事務局	<p>する講座の募集についても、漏れがないような広報の仕方を考えないといけないのではないか。</p> <p>現在広報は、広報誌・ホームページ・公式LINE・フェイスブックの活用や公共施設等へのチラシの配布をしているが、今後は多様な媒体を検討しながら広報をしていきたい。</p> <p>(3) その他</p> <p>ーなしー</p>
5. 閉会	副会長	閉会あいさつ